

2017 西宮市小学校区防災訓練 「子ども防災コーナー」担当

2017年4月29日（土）：香櫨園小学校

参加者：約100名

2017年5月28日（日）：深津小学校

参加者：約100名

2017年11月12日（日）：津門小学校

参加者：約100名

2017年11月23日（日）：甲陽園小学校

参加者：約100名

2017年12月10日（日）：高須小学校

参加者：約100名

昨年度からの継続的な活動として、子ども向けの防災教育ツール「防災ウォッチ」を用い、西宮市防災啓発課主催の小学校区防災訓練における「子ども防災コーナー」を担当しました。「防災ウォッチ」とは、災害発生時に危険となるものや、身を守ってくれるものを妖怪に見立て、約40種のキャラクターを作成。企画段階から防災啓発課の方々と何度も打ち合わせを重ねていきました。



年度初めである4月の香櫨園小学校、5月の深津小学校では、昨年度から引き続き、防災ウォッチのキャラクターを用いた「〇×ゲーム」と「何が落ちたゲーム」を行いました。市の方のご協力のもと、熊本地震や地震が起こった際の室内の様子映像を見てもらいました。さらに、地震が起こ

った際に身の回りの危険なものや身を守ってくれるものを、子ども達にもっと分かりやすく理解してもらうため、まずは体を動かしながらの〇×ゲームを行いました。前のスクリーンに映し出される妖怪が、災害時に危険となるものなのか身を守ってくれるものかを考えてもらい、全員参加型の和気藹々とした雰囲気で行うことが出来ました。



その後、「何が落ちたゲーム」をしました。一昨年からの取り組みですが、子ども達の反応が特段良く、未就園児から小学生まで幅広い年代に楽しんでもらえる内容となっています。妖怪キャラクターをスクリーンに映し、その妖怪が災害時危険なものになる場合は、しゃがんで頭を守るポーズを、身を守ってくれるもの場合は、手ですくうポーズを、というルールもすぐに覚えてくれ、知識の定着を実感することができました。



夏ごろ、防災啓発課の方々と相談し、グラウンドで開催されている、消火器体験や煙体験などのほかのコーナーにもっと子ども達を誘導するような仕組みを組み込んだコーナーに変更することになりました。

各コーナーの体験内容に沿った妖怪キャラクターやクイズを設置し、その答えをキーワードとし

て探してきてもらう内容にしたため、グラウンド内に子ども達やご家族連れが散らばり、楽しそうに参加している様子が見られました。



特に、前回まで体育館で行っていたコーナーでの反省点を踏まえ、低学年用と高学年用で難易度を分けたコースの設定を行いました。そのため、低学年にはゲームの内容をより分かりやすく、高学年にはより深い防災知識を伝えることができました。



また、今年度も昨年度に引き続き、作成したキャラクターを「妖怪図鑑」にまとめ、子ども達をはじめとした、コーナーに参加してくださった全ての地域の方々へ毎回配布しました。小さいお子さんからご高齢の方まで、また小学校の先生などの幅広い世代の方々にご好評いただきました。

今年度の活動は、10月に予定されていた上ヶ原小学校での防災訓練が悪天候のため中止となり、全5校での開催となりました。次年度も引き続き地域創りリーダー養成プログラムで防災訓練を担当する予定です。「防災ウォッチ」を通して、西宮市の小学生への防災教育に貢献できるよう、頑張っていきたいと思います。

今年度の西宮市小学校区防災訓練「子ども防災コーナー」に関わってくださった全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。